

平成30年度「知事とのふれあいフォーラム」発言事項に係る対応状況（地域版）

市町村	発言要旨	対応状況	対応状況の詳細	所管課・担当
	<p>高齢者は増加しているものの、高齢者クラブの会員は減少しており、今後、町単位で活動を継続できるかが不安。県などより広い単位での何らかの方策が考えられないか。</p>	<p>老人クラブ活動の活性化のため、各市町村の老人クラブや老人クラブ連合会、県老人クラブ連合会への補助を実施中。平成31年度は、県老連への補助により地域支え合い活動強化事業を実施予定。</p>	<p>老人クラブの会員数の減少と高齢化は、全県的な課題である。平成31年度から、従来の友愛活動のための研修に加え、モデルクラブを選定し、若手高齢者を中心にチームを組織し、ひとり暮らし高齢者宅等を訪問、日常生活の支援等を行う。また、訪問結果を踏まえ、若手委員会や女性部会において、老人クラブ活動の方策を検討する。この事業を通じて、クラブの存在意義を会員・住民に理解してもらうとともに、若手高齢者の活用、会員加入促進を図る。</p>	<p>長寿介護課 高齢化対策担当</p>
<p>高鍋町 平成30年6月25日開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みやざき次世代農業トップランナー養成塾」を今後も継続していただきたい。</li> <li>・卒業した塾生を集めた情報交換の場を設けてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、「みやざき次世代農業リーダー養成塾」の名称で継続中（国庫、平成30年～32年）。</li> <li>・卒業生の意見交換会を実施（平成30年8月25日）。</li> <li>・在塾、卒業生の交流会を開催（平成30年10月18日）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度、全11回で養成塾を開催（15名参加）。</li> <li>・交流会には、在塾、卒業生に参加を募り、卒業生間の交流を促進（計27名参加）。</li> </ul>	<p>農業経営支援課 農業担い手対策室 担い手担当</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪北部地震の事故を踏まえ、通学路の危険箇所や違法建築物に対する指導をお願いしたい。</li> <li>・南海トラフ地震について、しっかり対策を行ってほしい。</li> </ul>	<p>旧耐震基準で建築された木造住宅やスクールゾーン内の危険ブロック塀等の耐震対策を実施。</p>	<p>国及び市町村と連携して旧耐震基準で建築された木造住宅の耐震対策支援事業を効果的に見直すとともにスクールゾーン内の危険ブロック塀等の耐震対策を新たに実施。</p>	<p>建築住宅課 建築指導担当</p>

<p>高鍋町 平成30年6月25日開催</p>	<p>地元の生徒を確保するため、地元高校の魅力向上取組への支援をお願いしたい。</p>	<p>平成31年度から高鍋高校に「探究科学科」を設置。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通科探究科学コースを探究科学科として設置。</li> <li>・文理対応であり、より一層質の高い学びを実現し、難関大学・難関学部等への進学ができる学科とする。</li> </ul>	<p>高校教育課 計画担当</p>
<p>高原町 平成30年6月27日開催</p>	<p>民生委員・児童委員のなり手がいない。行政でもその大切さを理解し、今後も担い手を確保してほしい。</p>	<p>要望を踏まえて県民生委員児童委員協議会との意見交換会を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見交換会を2回開催（H30.7.26、H31.1.16）し、平成31年12月1日の一斉改選に向け、委員定数や候補者推薦のあり方、県民へのPR、委員の負担軽減策等について協議を行った。</li> <li>・今後、定数変更要望調査や個人情報の取扱等に関する市町村との関係・調整を実施予定。</li> </ul>	<p>福祉保健課 地域福祉保健・自殺対策担当</p>
	<p>新燃岳噴火による観光面での風評被害が大きいため、県でもアピールをお願いしたい。</p>	<p>要望を踏まえて情報発信を強化。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊予約サイト「じゃらん」や「楽天トラベル」で宮崎県特集を組むとともに、「じゃらん9月号（誌面）」でも宮崎特集を掲載。</li> <li>・フェイスブックを活用し、イベントや観光情報を発信。</li> </ul>	<p>観光推進課 観光企画担当</p>
	<p>農業委員会の九州・沖縄ブロック大会が宮崎で開催される。県でも理解と支援をいただけるとありがたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会実行委員会の運営支援。</li> <li>・来賓依頼、連絡調整支援。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会の会場提供、県担当者の出席。</li> <li>・九州農政局幹部、県知事の出席。</li> </ul>	<p>農業経営支援課 農地対策担当</p>
<p>小林市 平成30年7月6日開催</p>	<p>吉都線存続のためには、生活路線としてだけでなく、観光列車やレストラン列車など、観光面での利用促進が必要である。</p>	<p>J R 吉都線利用促進協議会が実施する事業「地域鉄道利用促進強化支援事業」を支援。</p>	<p>観光列車を活用したレストラン列車ツアーを平成30年10月及び11月に計4回実施。</p>	<p>総合交通課 地域交通担当</p>

<p>小林市 平成30年7月6日開催</p>	<p>「北きりしま田舎物語推進協議会」について県と市町から支援をもらって活動しているが、行政に事務局が無い場合、マンパワーの不足があり、財政的にも考えながら活動していく必要があるため、今後も事務局機能に支援を続けてほしい。</p>	<p>市町村間連携支援交付金による支援を継続する予定。</p>	<p>小林市、えびの市、高原町から「北きりしま田舎物語推進協議会」へ交付している補助金（事務局人件費を含む）の2/3を、市町村間連携支援交付金として、県から3市町に交付。 (市町村間連携支援交付金の事業期間はH29～H31)</p>	<p>中山間・地域政策課 地域総合調整担当</p>
	<p>地域で育った子どもが宮崎大の医学部で勉強し、地元で医師となる流れをつくるよう県の支援や制度が必要。</p>	<p>要望を踏まえて医師確保対策強化事業を改善。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村や県教育委員会と連携して、地域医療を支える人材を確保するため、中高生を対象とする講演会を二次医療圏単位で開催する場合の支援を実施。</li> <li>・医師修学資金の貸与を受け医師になった者に対し、キャリア形成プログラムを適用し、今後、医師不足地域への配置を県と大学が協力して実施予定。</li> </ul>	<p>医療薬務課 医師確保担当</p>
	<p>国道268号など流通に重要な道路の代替道路整備を推進してほしい。</p>	<p>災害時における救助、支援活動を支える緊急輸送道路など、県内において国県道の整備を推進中。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の代替道路整備については、高速道路などの高規格幹線道路から国県道に至るまで、一体的な道路ネットワークの整備促進が大変重要。</li> <li>・引き続き道路整備予算の確保に努め、国県道の整備を推進していく。</li> </ul>	<p>道路建設課 計画調査担当</p>
	<p>空き家の有効活用に対する支援が必要である。</p>	<p>国の補助事業である「空き家再生等推進事業」等の情報提供を実施。</p>	<p>国の補助事業や先進的な取組事例などの情報提供を行う「市町村空き家連絡調整会議」を開催。</p>	<p>建築住宅課 住宅企画担当</p>

<p>小林市 平成30年7月6日開催</p>	<p>小林市では全小中学校で読み聞かせ活動を行っているが、「日本の読書県」として、県全体で取り組んではどうか。</p>	<p>「宮崎県生涯読書活動推進計画」（平成30年策定）の具体的な取組等として、読み聞かせの普及を記載している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村の読み聞かせボランティア等の育成を推奨。</li> <li>・幼稚園、保育所等の保育者等に読み聞かせを推奨。</li> </ul>	<p>生涯学習課 生涯学習推進担当</p>
<p>美郷町 平成30年7月13日開催</p>	<p>人口維持が難しくなる中、「地区の閉じ方」も視野に入れた長期的な集落のあり方に関する検討も必要ではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度新規事業「広げよう！『宮崎ひなた生活圏』形成促進事業」で取組中。</li> <li>・平成31年度新規事業「地域における人口減少対策促進事業」に反映。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な操作で市町村より小さい地区単位で人口の将来推計や人口の安定化に必要な定住人口増加数等のシミュレーションができ、住民の地区の現状や将来像の共有を促す支援ツール「ひなたまちづくり応援シート」を開発予定。</li> <li>・平成31年度には①「ひなたまちづくり応援シート」の活用方法や先進事例等を学ぶ研修会を開催②市町村が地域住民と協働して行う、「ひなたまちづくり応援シート」を活用した課題の共有や地域戦略の策定、取組体制づくり等を支援。</li> </ul>	<p>中山間・地域政策課 中山間・特定地域振興担当</p>
	<p>林業は人材教育が大事であり、林業大学校では職業訓練だけで終わって欲しくない。新たな価値を育むことや林業先進国に学ぶことが必要。</p>	<p>平成31年度新規事業「みやざき林業大学校」林業担い手育成総合研修事業に反映。</p>	<p>「みやざき林業大学校」のカリキュラムにおいては、林業の基礎からICT等最新技術、国内外の林業事情まで幅広い内容となっているとともに、コミュニケーション力やリーダーシップ等の人間力向上も盛り込むなど林業イノベーションに取り組む人材を育成していく。</p>	<p>森林経営課 林業普及指導担当</p>

<p>美郷町 平成30年7月13日開催</p>	<p>「ひむか神話街道」の今後の整備・改修計画について、見通しをはっきりさせてほしい。</p>	<p>(県管理箇所について) 国道388号椎葉村中山～美郷町南郷鬼神野間の整備については、引き続き地元と協議しながら必要な対応を検討している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年9月に美郷町南郷鬼神野において牛山2工区（道路改良延長780m）が完成。</li> <li>・残る区間についても昨年10月に美郷町、椎葉村役場と合同で現地調査を実施し、引き続き優先順位箇所の選定など、協議を行っていくこととしている。</li> </ul>	<p>道路建設課 計画調査担当</p>
	<p>子どもが減れば他校と野球部活動の合同チームを編成しなければならないが、2校でないとだめや、相手方が9人以上いるとだめなどの制限がある。その制限の緩和をお願いしたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県中学校体育連盟（県中体連）で複数校合同チーム編成規定を設けている。</li> <li>・競技団体等主催の大会においては柔軟に対応している状況もある。</li> </ul>	<p>【県中体連複数校合同チーム編成規定（抜粋）】</p> <p>○合同チームは同一地区内の2校で編成するものとする。</p> <p>※軟式野球の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単独で9人に満たないA・B2校同士の合同</li> <li>・単独で9人に満たないBチームが単独で9人を満たしているAチームから登録枠内（18人）で人数を補充して合同チームを編成することができる。</li> <li>・単独で9人を満たしていないB・Cのチーム2校が、単独で9人を満たしているAチーム1校から人数を補充し2チームによる合同チームを編成することができる。（ただし、BとCが合同で9人に満たない場合とする。）</li> </ul> <p>○（※平成31年度より）県中学校秋季体育大会にかぎり、2校合同によるチーム編成ができない場合、本連盟の評議員の承認を経て、特別措置として規定外の合同チームを編成することができる。</p>	<p>スポーツ振興課 学校体育担当</p>
	<p>美郷町の製炭技術について、県の無形文化財に指定されるとありがたい。</p>	<p>今後、調査を行う。</p>	<p>今後、製炭技術の調査を行っていく。調査を十分に行った上で指定するかどうか慎重に検討したい。</p>	<p>文化財課 文化財担当</p>

<p>木城町 平成30年8月20日開催</p>	<p>児湯地域では、医師も高齢化が進み、後継者もいないため、自宅で最後まで過ごす必要な体制づくりが不安。また、在宅医療に興味のある医師や専門職も少ないので、人材の確保をお願いしたい。</p>	<p>平成31年度新規事業 宮崎大学「地域医療・総合診療医学講座」運営支援事業に反映。</p>	<p>・宮崎大学の「地域医療・総合診療医学講座」が取り組む地域派遣型臨床実習(※)を支援。 ・医師修学資金の貸与を受け医師になった者に対し、キャリア形成プログラムを適用し、今後、医師不足地域への配置を県と大学が協力して実施予定。 ※地域派遣型臨床実習 宮大医学部医学科5～6年生全員が、県内26市町村のいずれかに4週間滞在し、地域医療と地域包括ケアの現場を網羅的に実習するもの。</p>	<p>医療薬務課 医師確保担当</p>
<p>五ヶ瀬町 平成30年9月4日開催</p>	<p>高齢者の移動手段がないことが問題。行政だけでなくボランティアなど町民全体でこの問題に取り組まなければならない。</p>	<p>高齢者の移動手段確保等について取り組む「宮崎県高齢者移動手段確保等協議会」を平成31年1月25日に発足。</p>	<p>県、県警、26市町村、民間団体・機関等で構成し、高齢者の交通事故対策や免許を返納した高齢者の移動手段確保等についての意見・情報交換を随時実施する。</p>	<p>生活・協働・男女参画課 消費・安全担当</p>
	<p>住宅の問題を解決しないと移住者は増えない。なかなか貸してくれない空き家への対応や県営や町営で新築住宅を建設することも考える必要がある。</p>	<p>平成31年度新規事業「宮崎ひなた暮らし移住・定住促進事業」に反映。</p>	<p>・市町村に対する補助事業である「移住・定住促進支援事業補助金」において、売買・賃貸契約後のみ補助対象としていた、空き家の家財処分等に係る費用を契約前に係る分も対象とするよう拡大し、空き家バンクへの登録促進を図る予定。</p>	<p>中山間・地域政策課 移住・定住推進担当</p>

<p>五ヶ瀬町 平成30年9月4日開催</p>	<p>県の宝とも言える五ヶ瀬ハイランドスキー場を教育での活用を含め支援をお願いしたい。</p>	<p>平成30年2月に教育委員会がスキー場に出向き、スキー場及び町教委から意見聴取及び協議を行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町は学校団体利用額の助成を実施。利用実績もあるが、五ヶ瀬までの距離と移動時間、費用面、学年単位等での宿泊可能な宿泊施設等不足が課題である。</li> <li>・「ふるさと学習」の観点からも当該施設は貴重な地域資源であり、小学校の社会科副読本（次年度改訂）に掲載するなどして県教委は児童生徒に周知する。</li> <li>・各学校の県内広域からの利用実現に困難な状況も見られ、今後、県教委として関係する各種団体等に対し当該施設について周知する。</li> </ul>	<p>義務教育課 義務教育・学力向上担当</p>
-----------------------------	---	--	--	------------------------------